

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年12月10日 (2015.12.10)

【公表番号】特表2014-532653(P2014-532653A)

【公表日】平成26年12月8日 (2014.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-067

【出願番号】特願2014-538998(P2014-538998)

【国際特許分類】

C 0 7 F 9/145 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 9/145

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月20日 (2015.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 5 】

これは、小規模装置は酢酸エチルとの現象を示さない（比較例 2 と比較）ことを実証する。

本開示は以下も包含する。

[1] ポリ亜リン酸塩結晶から残留洗浄溶媒を除去するためのプロセスであって、

A . 前記ポリ亜リン酸塩結晶および残留洗浄溶媒を第 2 級アルコールと混合し、ポリ亜リン酸塩結晶、残留洗浄溶媒および第 2 級アルコールの混合物を形成するステップ、ならびに

B . 前記混合物を乾燥して前記残留洗浄溶媒および第 2 級アルコールを除去し、前記ポリ亜リン酸塩結晶の重量に基づいて 0 . 5 w t % 未満の含有量にするステップ、を含むプロセス。

[2] 前記ポリ亜リン酸塩結晶の重量に基づいて前記結晶を含有量 0 . 5 w t % 未満に乾燥する前に、前記ポリ亜リン酸塩結晶を前記残留洗浄溶媒および第 2 級アルコールから分離するさらなるステップを含む、上記態様 1 に記載のプロセス。

[3] 前記結晶は前記残留洗浄溶媒および第 2 級アルコールから遠心分離またはろ過によって分離される、上記態様 2 に記載のプロセス。

[4] 前記残留洗浄溶媒はアルキルエステルである、上記態様 1 から 3 のいずれかに記載のプロセス。

[5] 前記アルキルエステルは、酢酸エチルまたは酢酸プロピルである、上記態様 4 に記載のプロセス。

[6] 前記ポリ亜リン酸塩は、ビス亜リン酸塩である、上記態様 5 に記載のプロセス。

[7] 前記第 2 級アルコールは、 $C_3 \sim C_6$ の第 2 級アルコールである、上記態様 6 に記載のプロセス。

[8] 前記第 2 級アルコールは、イソプロピルアルコールである、上記態様 7 に記載のプロセス。

[9] 前記結晶は、20 から 100 の温度および大気圧より低い圧力で乾燥される、上記態様 1 から 8 のいずれかに記載のプロセス。

[10] 上記態様 1 に記載のプロセスによって作成される、ポリ亜リン酸塩結晶。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリ亜リン酸塩結晶から残留洗浄溶媒を除去するためのプロセスであって、

A．前記ポリ亜リン酸塩結晶および残留洗浄溶媒を第 2 級アルコールと混合し、ポリ亜リン酸塩結晶、残留洗浄溶媒および第 2 級アルコールの混合物を形成するステップ、ならびに

B．前記混合物を乾燥して前記残留洗浄溶媒および第 2 級アルコールを除去し、前記ポリ亜リン酸塩結晶の重量に基づいて 0.5 wt %未満の含有量にするステップ、を含むプロセス。

【請求項 2】

前記ポリ亜リン酸塩結晶の重量に基づいて前記結晶を含有量 0.5 wt %未満に乾燥する前に、前記ポリ亜リン酸塩結晶を前記残留洗浄溶媒および第 2 級アルコールから分離するさらなるステップを含む、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 3】

前記残留洗浄溶媒はアルキルエステルである、請求項 1 または 2 に記載のプロセス。

【請求項 4】

前記第 2 級アルコールは、 $C_3 \sim C_6$ の第 2 級アルコールである、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のプロセス。

【請求項 5】

前記結晶は、20 から 100 の温度および大気圧 (760 mmHg または 101.325 kPa) より低い圧力で乾燥される、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のプロセス。